

令和4年度 安城北すずらん保育園における自己評価の結果

安城北すずらん保育園の職員は、保育の質の向上を図るため、保育所保育指針に基づき自己評価を実施しています。
令和4年度の自己評価結果を公表します。

A：100～90% B：90～60% C：60～30% D：30%以下

14名回答 21項目

項目	内容	総合評価	意見
基本事項	①教育・保育の基本が理解できているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修では、保育所保育指針や園の方針理解について勉強していった。 ・「育みたい3つの資質・能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について、具体的に説明するのが難しいという職員が多くいた。
	②教育・保育の配慮事項が理解できているか。	A	
	③全体的な計画・指導計画についての理解と実践がされているか。	A	
	④「育みたい3つの資質・能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について理解しているか。	B	
	⑤子どもの発達について理解しているか。	A	
保育の内容について	①乳児期の身体的発達について理解し、実践しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの主体性を尊重した保育を目指し、日々の保育実践や研修などを通して、子どもに対して肯定的で温かく関わる職員が多い。 ・若い保育者が多く、保育技術という点では経験が不足しており、今後も更に勉強をしていきたいという意見があった。 ・「環境」については、遊びのマンネリ化という課題があがった。様々な体験を通して豊かで充実した生活が送れるようにしていきたい。
	②乳児期の社会的発達について理解し、実践しているか。	A	
	③乳児期の精神的発達について理解し、実践しているか。	B	
	④1歳以上3歳未満児の「健康」について理解し、実践しているか。	A	
	⑤1歳以上3歳未満児の「人間関係」について理解し、実践しているか。	A	
	⑥1歳以上3歳未満児の「環境」について理解し、実践しているか。	B	
	⑦1歳以上3歳未満児の「言葉」について理解し、実践しているか。	A	
	⑧1歳以上3歳未満児の「表現」について理解し、実践しているか。	A	
	⑨保育の実施に関わる配慮事項について理解し、実践しているか。 (乳児・1歳以上3歳未満児)	A	
健康・安全について	①健康支援を行っているかどうか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して栄養士が中心となり食育の活動(夏野菜の栽培や芋掘り、クッキングなど)が行えた。 ・来年度は保育者自身も食育に対して主体的になり、更に園内の食育活動が充実していくようにしていきたい。
	②食育について取り組んでいるか。	A	
	③衛生管理や安全管理がされているかどうか。	B	
	④災害への備えはされているか。	B	
子育て支援	①園児の保護者に対する支援について行えているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対する子育て支援については、懇談会や季節ごとの行事を通して行っている。 ・子育て支援についてもっと学んでいきたいという職員が多くいた。
	②地域における子育て支援について行えているかどうか。	B	
職員の資質向上	①資質向上のための取り組みができているかどうか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園では月2回夕方から2時間の園内研修を実施している。しかし、参加できない職員は保育について勉強する機会や話し合いの機会が少ない。今後は、研修時間の確保や情報共有をしっかりと行っていきたい。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から新しい職員が増え、園の理念や方針、保育所保育指針の内容理解ができるように園内研修を行った。 ・職員同士の理解も深められるように、園内研修ではグループワークや付箋ワークを多く取り入れていった。 ・保育については「子どもの主体性」を大切にしたい保育を目指しているが、職員同士のコミュニケーションが足りず、まだまだ到達出来ていないと感じる。子ども一人一人が大切にされる保育ができるように、今後も話し合いや勉強をしていきたい。 ・環境構成については、年間を通してマンネリ化しており、遊びに対しての意識や理解という点で勉強が必要だと感じている。職員同士で意見を出し合いながら試行錯誤し、子どもたちにとって様々な経験ができる場所にしていきたい。 		